

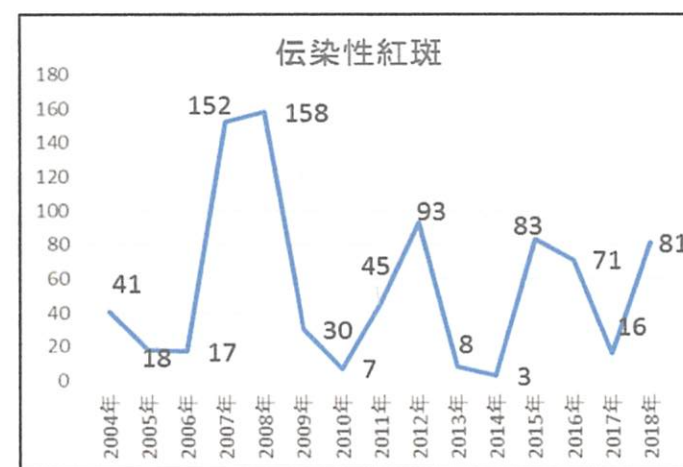
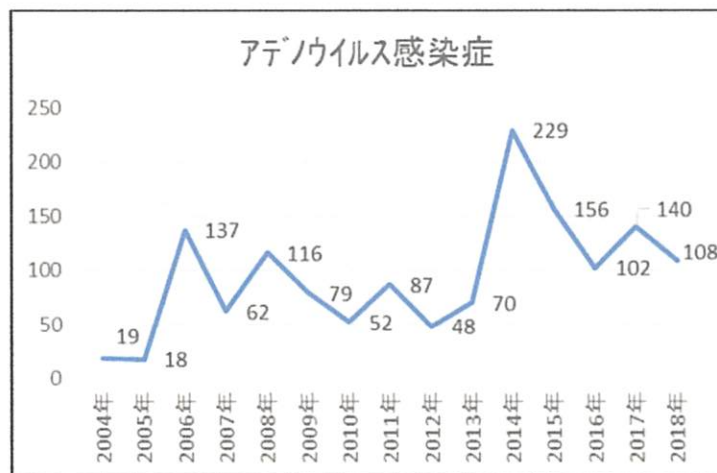
週間感染症情報

2018年30-31週 2018年7月23日より2018年8月5日まで

30週 31週

| | | |
|-----------------|----|----|
| 麻疹 | | |
| 風疹 | | |
| 水痘(みずぼうそう) | 2 | 2 |
| ムンプス(おたふくかぜ) | | 2 |
| 百日咳 | | |
| 溶連菌感染症 | 3 | 7 |
| 手足口病 | 2 | |
| ヘルパンギーナ | | 3 |
| 伝染性紅斑 | 7 | 10 |
| 感染性胃腸炎 | 22 | 33 |
| ロタウイルス(再掲) | | |
| 便アデノウイルス(再掲) | | |
| 突発性発疹 | 4 | 4 |
| 伝染性膿痂疹(とびひ) | 19 | 21 |
| ヘルペス性口内炎 | | |
| アデノウイルス感染症 | 1 | 8 |
| RSウイルス感染症 | | 10 |
| マイコプラズマ感染症 | | |
| インフルエンザ(臨床診断含む) | | |
| インフルエンザA | | |
| インフルエンザB | | |
| ヒトメタニューモウイルス | | |

遅くなりました。30-31週の報告です。酷暑が続き、熱中症と思われる症例が、小児も大人も多いです。7月豪雨の影響もあり、働き盛りの方が無理をしています。老人さんも体調を崩される方が多いです。外科の先生より、IgM抗体上昇あり百日咳と診断した川辺の女子中学生の報告がありました。周囲で流行しているそうです。被災地では、埃などの影響で呼吸器疾患が多いですが、百日咳にも注意が必要です。被災地では、「破傷風」が話題になっています。破傷風は予防接種で予防する病気です。今、破傷風のワクチンは手に入りやすく、外傷例にのみ接種されています。11歳から12歳で二種混合(ジフテリア・破傷風)ワクチンが定期接種として無料で接種できます。接種率が低いワクチンですので、ぜひ破傷風予防のためにも接種して下さい。伝染性紅斑の報告が続いています。また、アデノウイルス感染症(咽頭結膜熱を含む)の報告も例年より多いです。二つの疾患とも市内全域で見られます。難治性の伝染性膿痂疹が増えています。31週になり、RSウイルス感染症の報告が増え、入院例も多くなっています。これから注意が必要です。



(感染情報については当院のホームページでもご覧になれます。 <http://miyaiinsoja.webmedipr.jp/>)